

胸からお腹まで黄色いセキレイ  
— キセキレイ —

冬が近くなると陶史の森でキセキレイをよく見掛けるようになります。胸から腹にかけて黄色いことからキセキレイの名があります。キセキレイはスズメ目セキレイ科で全長は20cm程。細身で尾の長い鳥です。平地から高山までの水辺に沿って生息しています。陶史の森でも雲五川沿いにキセキレイの姿を見掛けます。

繁殖期以外は1羽で生活し、水辺を歩いて水中昆虫類などを採食しています。飛んでいる昆虫を空中採食（フライングキャッチ）することもあります。

オスとメスは、のどの色で見分けることができます。黒ならオス、白ならメスです（まれに例外があります）。いつも尾を上下に動かす習性があるので「石たたき」「庭たたき」などの異名があります。

キセキレイとハクセキレイ、セグロセキレイはよく観察できるセキレイ3種で、飛び立つときと飛翔中の声に違いがあります。キセキレイは最も声が高く「チチン、チチン」と鳴きます。ハクセキレイはキセキレイほど高くない声で「チュチュン」。セグロセキレイは濁った声で「ジュジュ」と鳴きます。この3種の声聞き分けて、

▶ さえずる  
キセキレイ♂



セキレイの種類を観察することも楽しいです。

鳴き声から野鳥を想像し観察するバードウォッチングは、冬の陶史の森の楽しみ方の一つです。



キセキレイ  
チチン、チチン♪



ハクセキレイ  
チュチュン♪



セグロセキレイ  
ジュジュ♪

森の  
日記

紅葉のしおりを作りました

11月7日(日)

11月7日に葉っぱのしおり作り教室を開催しました。初めにしおりの作り方を学んだ後、葉っぱの採取に出掛けました。ネイチャーセンターに戻り、鮮やかに色付いた葉っぱをパウチして、しおりを作りました。おのおのさまざまな工夫をして、紅葉の美しさが映えるしおりをいっぱい作りました。参加した女の子は大満足でした。



教室のご案内

1月

●バードウォッチング  
(要申込 定員10人)

1月23日(日) 午前9時～11時  
雨天中止

冬の野鳥を観察します。

2月

●バードウォッチング  
(要申込 定員10人)

2月27日(日) 午前9時～11時  
雨天中止

早春の野鳥を観察します。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。